

JISAデジタル政策セミナー

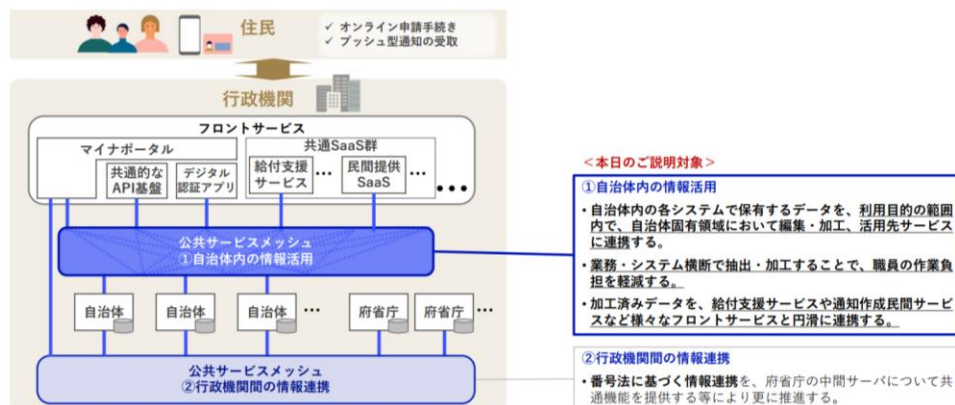
「公共サービスメッシュ（自治体内情報活用サービス情報連携基盤）について」及び 「データ分析・AI活用の最新動向」

開催報告

令和7年3月27日（木）、ビジネス委員会デジタル社会推進部会（部会長：加藤 健（株）オーイーシー）は、標記セミナーをZoomウェビナーにて開催した。参加者は110名。

本セミナーでは、基調講演に「公共サービスメッシュ（自治体内情報活用サービス情報連携の基盤）について」と題して、デジタル庁 デジタル社会共通機能戦略・組織グループ 統括官付参事官 吉川 泰宇 氏から講演があった。

公共サービスメッシュは、「自治体内の情報活用」、「行政機関間の情報連携」の 2 つの枠組みで構成されており、行政が保有するデータを安全・円滑に活用・連携できるように、これらを一貫した設計で実現する取組である。講演では公共サービスメッシュの全体概要に加え、令和7年度先行利用および実証について説明があった。



公共サービスメッシュについて（講演資料より引用）

次の招待講演では「令和6年能登半島地震におけるデジタル支援について」と題して、Palantir Technologies Japan 公共部門プロジェクト統括 北澤 克樹 氏から講演があった。能登半島地震の際の災害対応として、被災者の状況を迅速に把握するために、散在したデータを統合して被災者データベースを構築し、データを活用することで被災者への具体的な支援につなげた事例が紹介された。

最後にデジタル社会推進部会の取組について加藤部会長より紹介があり、これまでの成果や今年度の施策について説明があった。

以上

（小泉）